



保健、医療、福祉、教育の各分野で優秀な人材を輩出してきた金城大学(白山市)が、創立120周年を迎える2024(令和6)年の春、新たに「総合経済学部」を開設します。米島学長と、東京大学先端科学技術研究センター研究顧問で、新学部専任教員予定者の小林光氏に、新学部開設の背景と、「総合」の二文字に込めた思いを伺いました。(聞き手=フリーアナウンサー・福島彩乃さん) ※文中敬称略

来春、総合経済学部が誕生 広い視野持つリーダー育成



金城大学 学長

米島 學氏

能美市出身。1979(昭和54)年3月、金大医学部医学科卒。同4月、金大附属病院第1内科入局。1983年3月、同大学院医学研究科(博士課程)を修了し、金大がん研究所内科助手、金沢刑務所医師課長、金大附属病院第1内科助手、金沢市立病院消化器科長、市立救急病院長を経て、2022(令和4)年4月から現職。68歳。

東京大学先端科学技術研究センター研究顧問
(金城大学総合経済学部総合経済学科 専任教員予定者)

小林 光氏

東京都出身。1973(昭和48)年3月、慶大経済学部を卒業し、同年環境庁入庁。同庁地球環境部環境保全対策課長、環境省大臣官房審議官、同省環境管理局長などを経て、2009(平成21)年7月から2011年1月まで同省環境事務次官。その後、大学の理事・客員教授、企業の顧問などを歴任し、2020(令和2)年4月から現職。74歳。

「まずは、金城大学の成り立ちを教えてください。」

米島 1904(明治37)年、石川県師範学校教諭だった加藤廣吉先生と妻のせむ先生が創設した金城遊学館が始まりです。その後、女子教育の学校として長く歴史を刻み、現在、金城学園としては遊学館高等学校、金城大学短期大学部、金城大学附属西南幼稚園、そして金城大学(いづれも共学)という四つの学校を有するに至っています。

小林 金沢で女性を高等教育へと繋ぐ学校が少ない時代に、廣告・せむご夫妻は私財をなげうって尽

経済学に加え、健康・環境を学ぶ

「創立120周年を迎える2024年の春には、いよいよ『総合経済学部』が開校されますね。」

米島 これからの時代は、地域や企業が抱える問題から課題を抽出し、さまざまな方向性から多面的にアプローチする柔軟な視点が求められます。

新たに設置する「総合経済学部」では、従来の経済学部で勉強する経済学や経営学だけでなく、本学の得意分野である「健康」や、地球規模の課題である「環境」の分野も学ぶことができます。データサイエンスや社会調査の手法を活用しながら、社会の動きを正確に読み解く力を身につけ、地域経済に貢献できる人材を育成したいのです。

小林 新学部が誕生することで、すでにある医療や福祉分野の学部の学生も、これまでとは違った視点に触れられるようになります。これは非常に大きなメリットですよ。

米島 そもそも本学の設立理念は「明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成」です。各界のリーダーに求められるのは、専門知識はもとより、物事を俯瞰できる広い視点です。

力したと伺いました。

米島 せむ先生は夫の死後、事業を引き継いで今日の学園の土台を築くとともに、女子の中等教育に一生をささげました。その功績から郷土の偉人の一人として、金沢ふるさと偉人館で紹介されています。

米島先生が学長を務める金城大学の特徴について伺えますか。

米島 本学は、2000(平成12)年に社会福祉学部のみを単科大学として開学し現在は3学部5学科、1研究科1専攻科を有しています。保健医療、福祉、教育などの領域で、高度化・多様化するニーズに対応し、指導的な役割を果たせる人材の育成を目指しています。キャンパスは今年5月に世界ジオパークに認定された白山手取川地域のほぼ真ん中にあります。

小林 自然豊かな素晴らしい場所ですね。私の専門は環境ですが、これほど環境について学ぶのに適した大学は少ないと思います。

経済学に加え、健康・環境を学ぶ

たといえば私が経験してきた医療の世界では、患者さんを中心に、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士が連携するチーム医療が当たり前です。近年はそこに福祉職である社会福祉士が加わるケースが増え、いざ地域に出ると、医療と福祉・行政の連携が加速しています。

医療福祉に限らずチームにはリーダーが必要であり、そうした現場で連携をうまく進められるリーダーを育て、地域を活性化します。

100社を超える地元企業から学ぶ

米島 本学では地域貢献の一環として、高齢者の健康維持などを目的とした7つの「金城ドリームプロジェクト」を実施していますが、これからはもっと地域経済への関わりを強めていく考えです。おかげさまで100社を超える地元企業から協力をいただき、学生のインターンシップ受け入れなどの連携事業を予定しています。

小林 連携企業が100社超というのは国内トップクラスだそうですね。それらの企業と地域課題の

解決に向けて手を携えるのは、とても面白い取り組みです。

米島 地元企業との連携によるPBL(課題解決型学習)や、まちづくり研究なども予定しています。企業からの講師招へいや就業体験を通して、卒業後に地域を変えていく力を身に付けてもらいます。

そして教員には、さまざまな経験、経歴を持った方々に集まっていただき、今日お話ししたように、小林先生は、環境省の事務方トップである事務次官をお務めになり、いくつもの大学で教壇に立たれ、現在は東京大学先端科学技術研究センターの研究顧問でいらっしゃいます。ほかの先生方も、多くが民間企業など大学以外の実務経験を有しています。

小林 海外経験の豊富な先生も加わりますね。地球は一つであり、海外にも目を向ける広い視野を持つことも大事です。

米島 たとえば、環境学がご専門で、かつて南太平洋大学産学連携研究員を務められた宮本加奈先生は、フィジーの文化遺産を持続的に保護するための研究などを行っていただきます。宮本先生には、海外の環境変化と環境保全に向けた取り組みなどを授業で紹介してもらおう予定です。

勇気と好奇心

「最後に、これから金城大学で学ぼうという若者たちにメッセージをお願いします。」

米島 ぜひリーダーを目指してほしいですね。素質がない、と諦めないでほしい。リーダーとは、誰でも努力すればなれるものです。私も病院長になるまでは消化器内科一筋でしたから。

リーダーに必要なのは「承認」と「傾聴」です。自分と価値観の違う人を認め、相手の話を最後までよく聞くことです。これからの社会を生きる人には欠かせない力であり、いろいろな人と直接話をし、人として成長してほしいと思います。

小林 新しくできる学部に1期生として入ってこられる人たちは、勇気があると思います。先輩がいらない道を進むようなものだから、みんな強者です。起業することができるといえるのは、リスクを承知でチャレンジを辞さないことです。新しい学部で一緒に新しいことを学びましょう。みなさんの勇気と好奇心こそが、これからの社会を切り拓く宝なのです。

総合経済学部・総合経済学科 2024年4月開設



金城大学 笠間キャンパス/石川県白山市笠間町1200番地(笠間キャンパスに総合経済学部 建設中)
松任キャンパス/石川県白山市倉光1丁目205番地
学校見学・入試に関するお問合せ 0120-276-150 月曜～会館 9:00～17:00 土曜 9:00～14:00

2024年度 総合経済学部・総合経済学科 入学者選抜日程

選抜区分	募集人員 (定員150名)	出願書類受付期間	試験日	合格発表日	
学校推薦型選抜	65人	11/6(月)～11/11(土)	11/19(日)	12/1(金)	
総合型選抜 /マッチング型	15人	1次	エントリー 11/6(月)～11/11(土)	一次結果通知 11/15(水)	
		2次	11/16(木)～11/21(火)	11/26(日) 12/2(土)	
総合型選抜 /自己アピール型	15人	12/1(金)～12/7(木)	12/17(日)	12/23(土)	
一般選抜	35人	前期 12/18(月)～2024/1/18(木)	2024/2/1(木)	2024/2/10(土)	
			2024/2/2(金)		
			2024/2/3(土)		
共通テスト利用選抜	前期	10人	12/18(月)～2024/2/2(金)	—	2024/2/17(土)
一般選抜	後期	5人	—	2024/3/3(日)	—
共通テスト利用選抜	後期	5人	2024/2/12(月・振替)～2/21(水)	—	2024/3/9(土)

成績優秀者奨学生制度

※対象選抜区分:
一般選抜において成績優秀者と認められた方

A 奨学生

1年次
年間授業料(68万円) **全額を免除**

2年次以降も継続
最長4年間で **272万円を免除**

B 奨学生

1年次
年間授業料(68万円)から **30万円を減免**

2年次以降も継続
最長4年間で **120万円を免除**